

Beethoven

松本モーツァルト・オーケストラ

Symphony

ベートーヴェン・シンフォニーシリーズ

Series

第10回

2025年10月19日(日)

【開演】14:00

松本市音楽文化ホール(メインホール)

<主催> 一般財団法人 松本市芸術文化振興財団、松本モーツァルト・オーケストラ 実行委員会

<共催> 市民タイムス

<後援> 松本市・松本市教育委員会・長野県教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市
安曇野市教育委員会・信濃毎日新聞社・中信合唱連盟

Program

プログラム

ベートーヴェン

交響曲 第9番 ニ短調 作品125

シラーによる「歓喜に寄せて」最終合唱つき

I. Allegro ma non troppo. un poco maestoso

II. Molto vivace - Presto

III. Adagio molto e cantabile - Andante moderato

IV. Presto - Allegro assai

指揮：横島勝人

ソプラノ：斉藤真歩 アルト：山下裕賀 テノール：吉田連 バリトン：又吉秀樹

管弦楽：松本モーツァルト・オーケストラ

合唱：松本モーツァルト・コア

— ごあいさつ —

松本市音楽文化ホール開館40周年おめでとうございます。またこの記念すべき演奏会にご来場いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

松本モーツァルト・オーケストラは、ヴァイオリニスト故牛山正博氏が起案し、芸術監督・横島勝人氏の指揮のもと2007年結成・2008年3月初演以来12年をかけモーツァルトの交響曲全52曲とレクイエムを演奏し、記録を高音質CDとして残しました。モーツァルト交響曲全曲完奏後、ベートーヴェン生誕250年を記念してベートーヴェンの交響曲全9曲とモーツァルトの楽曲を組み合わせた「MMO ベートーヴェン・シンフォニーシリーズ」を計画し、本日はその最後を飾る第10回演奏会です。ベートーヴェンがシラーの詩『歓喜に寄せる』に楽曲をつけたと思い立ってから30年余を経て完成した交響曲第9番ニ短調合唱付を演奏いたします。

ベートーヴェン最後の作品であるこの交響曲は「ダイク」として親しまれるばかりでなく、大胆で壮大な交響曲として全世界で愛され演奏されています。今回、松本市音楽文化ホール開館40周年の記念すべき演奏会にあたり、MMOベートーヴェン・シンフォニーシリーズの完結である「ダイク」を皆様に聞いていただくことは、この地域の音楽文化に貢献したいと活動が続けてまいりました松本モーツァルト・オーケストラ実行委員会としても誇りとするところです。松本市音楽文化ホールのさらなる充実とご発展をご祈念申し上げます。

結びに、ご来場の皆様はじめご協賛いただいた各社・各位に深く感謝申し上げます。

2025年10月19日

松本モーツァルト・オーケストラ実行委員会

実行委員長 古幡 開太郎